

03. 皇學館オリジナルグッズ制作プロジェクト

作ろう！皇學館オリジナルグッズ

私たちは、皇學館オリジナルグッズの企画から販売まで一貫して活動を行っております。これまで学園祭や萼の会などのイベントで活動をしてきました。本活動は、学生自らが主体的となって活動する場面や学外の方と関わる機会も多いのでコミュニケーション能力や礼儀作法が身についたりします。

メンバー数：2名
活動場所：伊勢市
実施主体：皇學館サービス株式会社
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：R05, R06



月別活動

- 4月 入学式で日和帳の販売
- 5月 萼の会で日和帳の販売
CLL活動説明会
- 7月 擬革紙を用いたシンポジウム記念品作成
三重県知事との円卓対話
- 8月 擬革紙を用いたシンポジウム記念品作成
- 11月 CLL活動説明会



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度は、三重県の伝統工芸品に指定されている伊勢和紙を「知ってもらいたい」「身近に感じてほしい」という想いから大豊和紙工業会社様とコラボレーションして昨年度制作した「日和帳」の販売をしました。さらに、商品を見やすくするなど改良を行いました。本商品のコンセプトがお世話になった先生や先輩方に感謝の気持ちを伝えるということから商品名には「旅たちの一歩が良い日和（＝晴れ）でありますように」という思いが込められています。入学式、保護者会である萼の会で販売を行い、そしてCLL活動説明会や三重県知事との円卓対話などを通して本活動・本商品のことについて多くの方に認知していただきました。昨年度は、「本活動・本商品の周知ができていない」という課題がありました。着々と課題解決に繋がっているのではないかと感じております。さらに今年度は「皇學館大学『地（知）の拠点』10周年シンポジウム」が開催されたことから、そのシンポジウムに向け擬革紙を用いた記念品の作成をしました。本学らしきなどを出すために校章の刻印、サイズ、色など試行錯誤しながら取り組みました。今年度の活動を通して、人手不足であるという課題が見つかりました。昨年度に続いて2名で活動してきましたが、全ての商品制作において準備に時間がかかりました。今後の活動で多くの学生に参加していただくために継続的な周知はもちろんのこと、学内のイベントだけでなく学外のイベントでも販売を行っていくことでアピールポイントをさらに増やしていきたいと思っております。

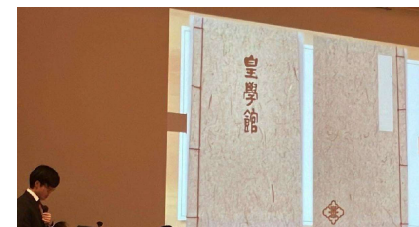
活動を通して学んだこと

本年度で2年目となり、販売や人と関わる機会が増え、昨年以上に学生だけでは活動ができないと知ることができました。皇學館サービス株式会社様をはじめとする多くの人のご協力のもと、多くの人に協力していただいて日和帳の販売、シンポジウムの記念品作成することができました。活動を通してコミュニケーション能力など向上することができました。

実施主体からのコメント

皇學館サービス株式会社
ご担当者様

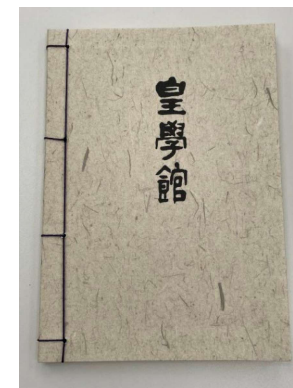
メンバーのお2人には、地元の素材を使い、学生や卒業生のニーズを掘り起こすということを念頭に大学生ならではの視点で多方面にリサーチをしていただきました。日和帳や擬革紙を使用したシンポジウム記念品の中に皇學館大学生としての感性がさりげなく込められている物になっております。お二人には大学での学びを、実社会で活かしていただきたいと思っております。今後も双方刺激を受け合いながら新たな商品を企画していきましょう。



担当教員より

教育開発センター 池山 敦

大学オリジナル商品の企画販売、というミッションには多くの方の協力が必要です。まず、実施主体であり販売元でもある皇學館サービス株式会社の担当者の方。そして、それぞれの商品の製造元の担当者の方です。擬革紙については、工房にも見学に行き、様々な学ばせていただくことができました。今後もメンバーを補充しながら、次はもっと手にとってもらえる商品の開発ができればと思います。



こんな人におすすめ！

- ・商品を一から作り販売することを体験してみたい人
- ・人と話すことが好きな人

成果物 / 制作物